

平成 24 年 12 月 20 日

保 育 課

たかはた保育園機能移転に伴う二者協議会の要旨について

1 開催日時及び開催場所

平成 24 年 12 月 19 日（水） たかはた保育園事務室
午後 6 時 30～午後 9 時

2 出席者

（1）保護者

たかはた保育園父母会代表（8 名）

（2）市側

子ども部長 大島 保育課長 高橋
保育課課長補佐 高原 たかはた保育園園長 小野

3 協議会での話し合いの内容（要旨）について

（1）協議会開催主旨の確認

①保育課長

たかはた保育園の機能移転にあたり、「保護者への説明が足りていない」「理解を得られていない」との議会での指摘を踏まえ、丁寧に説明し理解を得られるよう努力する。

②保護者

市と保護者の思い違いの溝を埋めていってほしい。また、先日三者協議会を実施した際、保護者から法人へ意見・要望を持っていくことが難しいと感じたため、市が法人との交渉役もになってほしい。

③保育課長

了解した。

（2）12 月市議会における一般質問および健康福祉委員会でのやり取りを踏まえ、今後の日野市としての姿勢を再度確認させてほしい。

①子ども部長

12 月 4 日の一般質問において、中野議員からたかはた保育園について、「6 月以降の経過」「保護者の同意が得られているという認識か」「日野市立保育園設置条例を改正し、たかはた保育園を廃園にする議案を市議会で承認して認められるものであるが、承認がないまま進めている」という質問があった。

保護者の同意については、これまでの説明会や保護者の代表、菊美会、市の三者協議会の開催により、一定の理解は得られつつあると認識している。三者協議会のテーブルについてくれた保護者に感謝していると答弁した。

設置条例改正については、入園を予定されている方に出来るだけ分かりやすく説明するため、しおりへの記載については、あのような表現になった。説明の仕方が不十分であったと答弁した。

12月14日の健康福祉委員会において、「日野市立たかはた保育園在園児が卒園するまで廃園にしないことを求める請願」が市議会で審議された。3人の議員が不採択、2人の議員が継続審議を主張し、継続審議を主張した議員が複数いるため、慣例により継続して調査研究するという結果になった。

議員5人の共通する意見は、保護者への説明をしっかりとってほしいということだった。

②保護者

最終的には理解ではなく同意と思っている。理解と同意は違う。少しでも多くの保護者が同意するためにはどうしたらいいかを考えなければならない。

過去の不動尊との経過も理解できるが、今回、請願もあり5,770人の署名を集めている。このことを踏まえ、私達のためにもう一度不動尊と交渉してほしい。腰をあげてほしい。ダメでも行動をおこしてほしい。

または、子ども部に保護者と市長が会えるように取り計らってほしい。私達の話聞いてほしい。保護者が怒っているのになんのアクションもおこしていない。どうしたら同意につながるかを市長と相談してほしい。

③子ども部長

市長は公の場で土地を返還すると言っているため、不動尊との交渉は難しいと思うが、保護者の思いは伝える。答えは分からない。

市長が出てくるのは、着地点と考えている。最初に戻って市長と話をすることは実現不可能だと思う。

④保護者

着地点というより、中間点として、けじめとして市長に行動をおこしてほしい。私達も来年からは新園に向けて考えていかなければならない。

最初に戻らなくてもいい。市長に会って説明し、すっきりしたい。

⑤子ども部長

ターニングポイント、けじめとしてということであれば市長に話す。保護者の思いは伝える。

(3) 保育内容の承継および機能移転の機能について

①保護者

機能移転の認識が保護者と菊美会と違う。保護者は内容も承継すると思っていた。

②保育課長

機能項目一覧表で示した機能を移転する。保育の内容は菊美会の方法で実施する。たかはた保育園の保育内容を菊美会が実施することは無理があると思う。

③保護者

もしそうなら、合同保育を実施する目的が分からない。

④保育課長

保育内容は菊美会で実施し、たかはた保育園の保育士は見守るという形、何かあれば今までいた保育士が近くにいる。子どもも安心する。菊美会の職員がたかはた保育園に来てもらうのは、たかはた保育園の保育を知ってもらい、菊美会でどう生かすか考えてもらう。

⑤保護者

保護者はゆるやかな移行を求めている。たかはた保育園の保育内容からスタートし、徐々に菊美会の保育内容に変えていってほしい。公立保育園だからたかはた保育園を選んだ保護者もいる。

例えば行事については、たかはた保育園は運動会・発表会の2つであるのに対し、菊美会は運動会・発表会・七夕まつり・新選組パレード・保育まつり等があり、子どもにとって変化が大きすぎる。

⑥保育課長

ゆるやかな移行について、菊美会と調整する。

⑦保護者

たかはた保育園の職員が菊美会の保育をみてもらい、保育士としてのどう思ったか話を聞きたい。

⑧保育課長

菊美会と調整する。

⑨保護者

たかはた保育園の職員と菊美会の職員が、保育内容をゆるやかにするプロセスを協議してほしい。

⑩保育課長

菊美会と調整する。

⑪保護者

急激な弾力化はやめてほしい。

⑫保育課長

面積上、日野第二保育園のような弾力化はない。また年度初めの弾力化は行わない。増員は5名・在園児卒園までそれ以上の増員はしない。

⑬保護者

今現在介助がついている子どもには介助はつくのか。また、人は同じか。

⑭保育課長

介助はつく。人も出来る限り同じにするよう努力する。

⑮保護者

布団カバーは、保護者の新たな負担になる。市で購入してプレゼントする等保護者の負担がないようにしてほしい。延長保育料も大きな費用負担になる。

⑯保育課長

布団カバーについては、その方向で検討する。延長保育料は大きな問題と認識している。

⑰保護者

保護者として理解を深めるため、体操着、トレシャツ、トレパンを着る意義、どのようなタイミングで着るのかを保育課から聞いてほしい。

⑱保育課長

確認する。

⑲保護者

0.1.2歳児については、たかはた保育園と同等の少人数クラスにしてほしい。

⑳保育課長

乳児クラスは家庭的であることが望ましいことは理解している。現在、日野第二保育園ではクラスは 1 つである。

(4) 移転先開発地の現状について

①保護者

都道から建設地までの 6m への拡幅についての経過を教えてください。

②保育課長

現在、お願いしている。

③保護者

子どもの安全を確保する、また、近隣住民との良好な関係を築くため、6m への拡幅だけでなく、菊美会から事業主へ近隣の方の家に壁等の目隠しをするよう伝えてほしい。

④保育課長

伝える。

4 その他

(1) 来年 1 月に説明会を実施予定

(2) 保護者が実施したアンケート結果を市に提示する。